

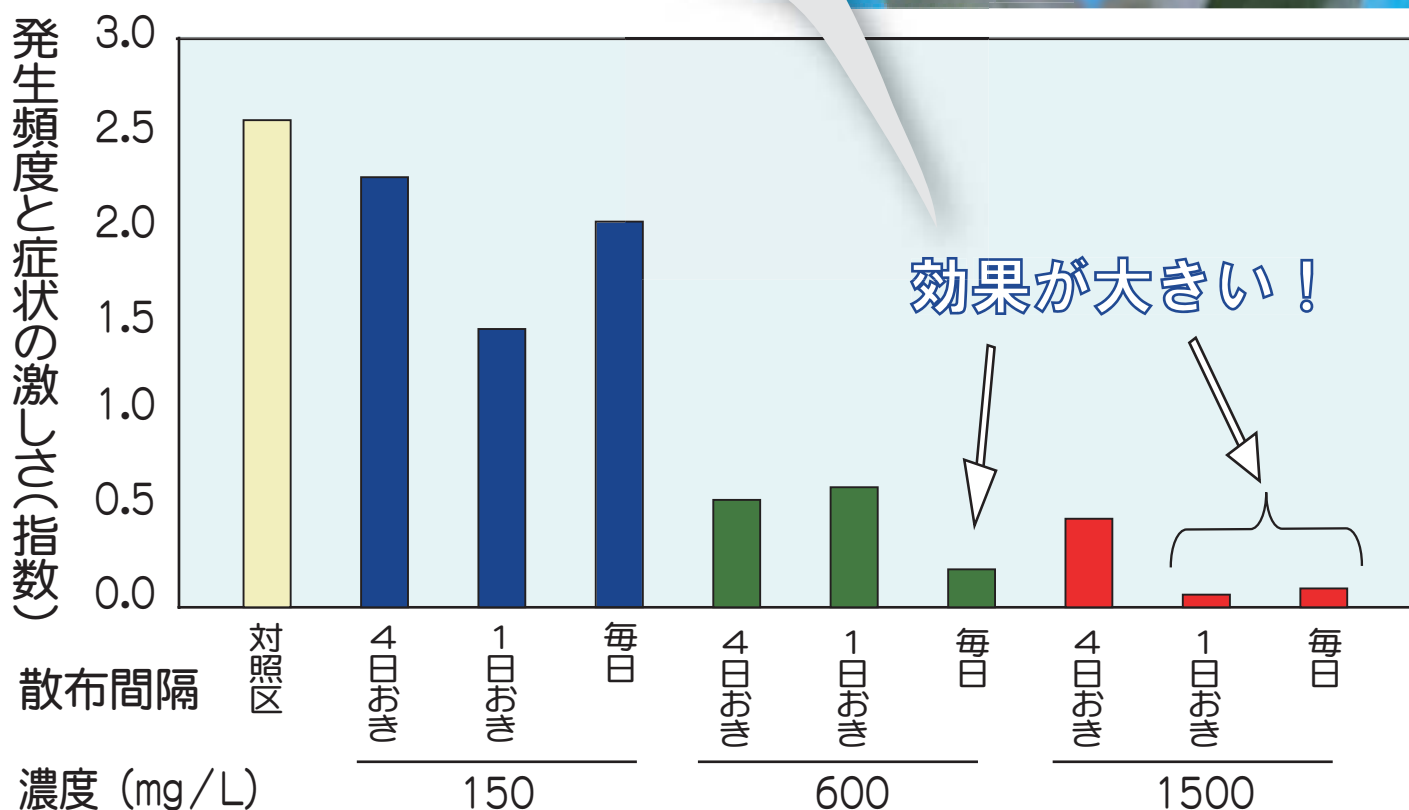
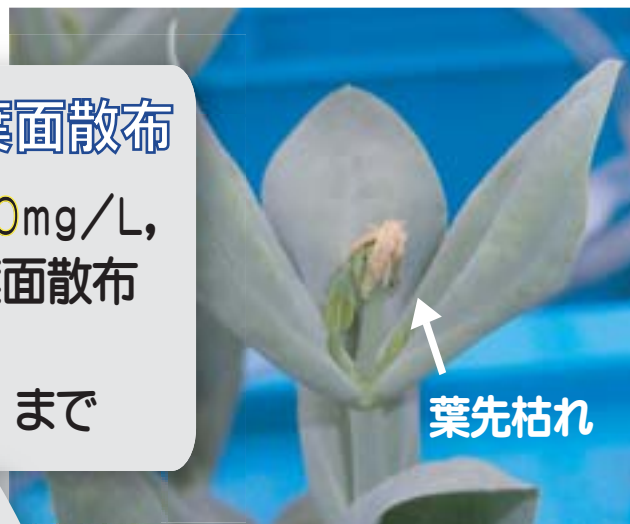
トルコギキョウの葉先枯れ症発生軽減 —有機酸カルシウム（Ca）の葉面散布—

トルコギキョウの葉先枯れ症は、症状が激しい場合は生長点が枯死し、腋芽が伸長して商品性が著しく低下する生理障害です。

対策：有機酸カルシウム（Ca）の葉面散布

濃度：慣行（150mg/L）の4倍の600mg/L、
あるいは10倍の1500mg/Lで葉面散布

適期：活着時から花芽分化期
（草丈7～30cm；およそ20日間）まで



- 展着剤を混和し、散布液が未展開葉に十分付着するように散布します。
- 濃度が1500mg/Lでは液の付着による汚れが生じますが、出荷時にはかき取る部分であるため商品性に問題はありません。